

環境審議会（要旨）

平成 30 年度第 4 回成田市環境審議会会議録

1 日 時 平成 30 年 12 月 19 日（水）午前 10 時 00 分～午前 11 時 50 分

2 場 所 成田市役所 6 階中会議室

3 出席者

（委員）

本橋敬之助会長、片岡孝治委員、富井柁夫委員、小島猛委員、宮崎廣文委員
豊田いつ子委員、印宮昭夫委員、須田恭子委員、根本祥宏委員、西山重男委員
綿貫沢委員、杉原文哉委員、林大八郎委員、岩本晃郎委員

（成田市）

環 境 部 石井部長

（事務局）

環境計画課 保立課長、寺本課長補佐、渡部係長、中里副主査、若田副主査

環境対策課 堀越課長

クリーン推進課 黒田課長、八代主幹、山倉主査、藤谷主任主事

環境衛生課 加藤課長

株式会社地域計画建築研究所 長澤氏

4 傍聴者 6 名

5 会議次第

1. 開会

2. 議事

(1) 成田市災害廃棄物処理計画の策定について

(2) 一般廃棄物の減量化に向けての検討について

(3) 成田市役所エコオフィスアクション（成田市環境保全率先実行計画）平成 29 年度結果に
ついて（報告）

(4) その他

3. 閉会

議事（要旨）

（１）成田市災害廃棄物処理計画の策定について

クリーン推進課八代主幹から成田市災害廃棄物処理計画の策定について説明を行った。

議題（１）において出された質問は次のとおり。

（〇・・・委員の発言 →・・・事務局の発言）

○災害は、大規模な災害から小規模な災害までであるが、災害の規模によって計画の位置づけは変わるのか。

→東日本大震災のような大規模な災害になれば、放射能対応や廃棄物の対応など国が中心になって行いましたが、一般的な災害廃棄物は市が対応することが、この計画の基本となります。災害の程度により激甚災害等の指定はありますが、それとは別の話になります。

○水害について、利根川の氾濫による浸水を対象としているとあるが、利根川が氾濫することによる支川への被害を含めた計画になっているのか。

→支川への被害を含めた計画となっています。

○仮に、利根川が複数箇所で氾濫した場合、計画としては、個々でみるのか、全体と見るのか。

→全体で見ます。

○臭気について考慮するとあるが、具体的にどのようなことを指しているのか。

→仮置き場については、災害廃棄物を積み置くことにより、発酵し臭気が出てしまうことがありますので、周囲に学校や民家がない場所を仮置き場として選定することになっています。

○策定した計画が有効に機能させるために、訓練や演習等を踏まえた見直しが必要であると思います。このP D C Aが重要であると思うが、P D C Aをどのように管理するのか。この計画の中に、P D C Aについて、誰が、どのように実行するか明記するべきだと思う。

→現時点でそこまでの記載をすることは難しいと考えています。訓練となると、環境部単独では難しいので、市の防災担当が実施している訓練に本計画を組み込めるか検討させていただきます。

○成田市災害廃棄物処理計画パブリックコメントはいつから始まるのか。

→すでに実施してまして、12月17日から1月16日までとなります。

(2) 一般廃棄物の減量化に向けての検討について

黒田クリーン推進課長及び山倉クリーン推進課主査から前回までの環境審議会における意見や質問について説明を行った。

議題(2)において出された質問は次のとおり。

(○・・・委員の発言 →・・・事務局の発言)

○一般廃棄物の減量化について、市では、市民への啓発や情報共有を行っているが、市として、広報活動の結果と成果をどのように捉えているのか。

→平成28年度と平成29年度を比較すると、700トンほどごみが減少しています。これが市の啓発活動の効果であるかは定かではありませんが、ある程度の効果は出ていると思います。啓発活動の成果とは断定できませんが、継続して啓発活動を行っていきたいと考えています。今後は、分別等確認しながら、悪いところを中心に啓発を行っていきたいと考えています。

○先日、ごみ処理に関する資料を回覧で見て、よくできている資料だと思ったが、環境審議委員だからこそ理解できる部分もあったので、一般市民の方がどこまで理解しているのかという疑問もある。資料がどこまで市民に伝わっているか、フォローも必要であると思う。また、回覧は自治会に加入している人の割合に依存してしまうので、自治会に加入していない人に知ってもらうことが課題の1つであると思う。

→ご指摘の通り、すべての人が自治会に加入しているわけではなく、回覧物が届いていない状況があります。新聞折り込みで周知も行っていますが、新聞を取っていない方もいますので、今年の6月からスマートフォンのアプリで、周知を行っているところであります。

○廃棄物減量等推進員が集積所の管理をしているという話があったが、廃棄物処理の周知やその協力を地区の方に行ってもらうため、何らかの活動が必要であると思う。

→廃棄物減量等推進員の方に、回覧物を宣伝していただき周知を行っています。また、勉強会等により、市の声を減量等推進員の方を通じて地域に届けるという形を考えています。

○廃棄物減量等推進員は、大変な仕事だと思うが、これはボランティアで行っているのか、それとも有料なのか。廃棄物減量等推進員をきちんと育てないとうまくいかない部分もあると思うが、市はどのように考えているのか。

→廃棄物減量等推進員は、年間の報酬3万1千円で委嘱をしています。勉強会を行い、地域のパイプ役として、地域のごみの分別や減量化に取り組んでいただきます。

○名前を書いた紙を貼らずに集積所に出してある粗大ごみをよく見かけた。粗大ごみの回収ルールを検討してもらいたい。

→粗大ごみについては、月に2回ほど回収を行っており、日にちも大体決まっています。名前を書いた紙を貼らずに、粗大ごみとして出す方もいらっしゃいます。違反ごみについては、回収せず、ステッカーを張るなどの対応をとっています。場所によっては、粗大ごみを置かれると車が通行できない場所もありますので、ルールを守っていただくことを基本として指導しています。

○狭い集積所の地区に住宅が複数増えると、道路がふさがってしまう場合があるので、その地区の集積所の状況を踏まえて、住宅の確認申請を受けてほしい。

→500㎡以上の開発を行う場合は、市に届出の義務があるので把握できますが、市が建築確認できるものが200㎡以下の建築物であり、必ずしも市の建築住宅課に申請が上がってくるわけではないので、住宅の建築を事前に把握できる方法を検討します。

○清掃工場が建設されて6年になり、周知徹底等の努力はしているが、一步進まない状況である。ある自治体では、買い物の際ビニール袋を使わず、エコバックを使う試みを行っているので、成田市も何か思い切った施策を実施していただきたい。

→成田市は買い物袋持参運動を実施していませんが、スーパーの立ち入り等を実施しており、環境に配慮していただいているスーパーが多くありますので、どのように協力してもらっているかPRを含めて検討します。

○私が見る限りでは、多くの方が買い物かごを持参しており、市民の方の努力を認めたほうがいいと思う。また、以前の話だが、清掃工場の隣に余熱利用施設を建設する話があったが、計画案はあ

るのか。

→清掃工場の余熱利用施設については、75%の用地を取得しており、現在、残りの未買収地の取得に向けて取り組んでいます。また、温浴施設、温水プール、里山の自然を活かした多目的広場の計画を作成しています。

○廃棄物減量等推進員は成田市内で何人いますか。また、廃棄物減量等推進員は区に1人なのか。

→280人程度います。基本的に区に1人ですが、世帯数によっては多くいるところもあります。

○廃棄物減量等推進員は、決まっています、各区に知らせているのか。

→廃棄物減量等推進員は、区長の推薦により選出されています。廃棄物減量等推進員の人数の内訳は、280人程度いまして、再選が80名ほど、初めての方が200名ほどです。

○廃棄物減量等推進員は住民の意見を訊いて、市に報告していると思うが、私の地区では、誰が廃棄物減量等推進員なのか分からない。

○区長は副区長や民生委員、廃棄物減量等推進員などを推薦している。区長に、役員名簿を作成してもらい、回覧してもらおうのほうがいいと思う。

○ごみの減量を行う目的は様々なものがあると思うが、成田市が特に意識しているリスクや減量しなければならない理由はあるのか。

→排出されるごみが清掃工場での処理量より多いことです。このため、費用を支払い民間の焼却施設に処理をお願いせざるを得ない状況にあります。

○私はすべて燃やすことから脱却すべきであると考えている。千葉市では、小学校の給食残さのリサイクルを始め、生ごみを排出しない取り組みを行っている。成田市は、一般廃棄物の削減目標を11%としており、何らかの取組に挑戦しなければならないと考えている。

○市役所内ではペーパーレス化は進んでいるのか。また、シュレッダーのごみはどうしているのか。

→ペーパーレス化については、電子決裁を導入し、可能なものは電子決裁としています。シュレッダーのごみについては、資源化を行っています。機密文書については、熔融処理を行っています。

○オリンピックに関して、外国人観光客が増加すると思うが、成田市として、ごみや問題や環境

問題について対策があれば教えていただきたい。

→成田市の場合、宿泊される方がいると思います。オリンピックが決まったということで、宿泊施設であるホテルの事業所の立ち入りを実施しています。宿泊客が増加するので、リサイクルを中心に減量を進めていきたいと思っています。

(3) 成田市役所エコオフィスアクション(成田市環境保全率先実行計画)平成29年度結果について(報告)

中里環境計画課副主査から成田市役所エコオフィスアクションについて説明を行った。

議題(3)において出された質問は次のとおり。

(○・・・委員の発言 →・・・事務局の発言)

○グリーン購入は、通常のもの比べて、購入費用は高いのか。

→グリーン購入が始まった当初はそのような傾向がありましたが、現在では一部高いものはありませんが、ほぼ価格は変わらないものになっています。

○平成29年度と平成23年度を比較すると、18%グリーン購入率が上昇しているが、これによって何か特別な支出はあったのか。

→ありません。

(4) その他

・今後の環境審議会のスケジュールについて